



平成29年12月14日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 取締役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、平成30年3月期第2四半期の個別業績値と前期実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成30年3月期第2四半期個別業績と前期実績との差異（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

|          | 売上高    | 経常利益    | 四半期純利益  | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|----------|--------|---------|---------|-----------------|
| 前期実績(A)  | 129百万円 | ▲74百万円  | ▲73百万円  | ▲1.07円          |
| 当期実績(B)  | 197百万円 | ▲115百万円 | ▲115百万円 | ▲1.53円          |
| 増減額(B-A) | 67百万円  | ▲40百万円  | ▲41百万円  | —               |
| 増減率(%)   | 52.34% | ▲53.87% | ▲57.05% | —               |

#### 2. 前期実績との差異理由

平成30年3月期第2四半期の実績につきましては、売上高は67百万円増加し197百万円となりました。これは主に当社グループの各会社からの経営指導料収入の増加によるものであります。

経常利益につきましては、上記大幅増収となったものの、子会社の支援機能を拡大することで販管費が増加したことや、昨今の当社グループの置かれる経営環境を勘案し、貸付金やその他債権に対し保守的な観点から貸倒引当金（47百万円）を設定したことが減益要因となり、前期比40百万円の減益の▲115百万円となりました。

また、四半期純利益につきましては、前期と比較し41百万円減益となり、▲115百万円となりました。当期は不用品売却益（16百万円）を特別利益に計上いたしましたが、子会社株式の評価損（15百万円）を計上したことにより以上のような結果となりました。

以上